

## 健康コラム Fun Time

院内感染対策室 感染管理認定看護師  
藤井 佑子



### 万一、インフルエンザにかかってしまった場合の対処法

インフルエンザにかかったら、安静にしてゆっくり休みましょう。特に睡眠を十分とることが大切です。また、高熱によりいつもより多くの水分が体の外に出てしまいますので、脱水予防のためにもこまめな水分補給が必要です。個人差はありますが、インフルエンザ発症前日から発

症後1週間程度はウイルスを排出しているといわれています。このため、熱が下がったからといってすぐに人の集まる場所に行くと、人にうつす可能性があります。最低でも解熱後2日間は外出をさけましょう。外出できるようになってからも、しばらくの間はマスクを着用し、人にうつさないようにしましょう。

## Hospital News

### メモリードック (認知症ドック)のご案内

「記憶力の低下」や「もの忘れ」など気になることはありませんか。メモリードックでは記憶力テストを実施し頭の元気度チェックや認知症の早期発見にも役立ちます。またMRIにて画像診断も合わせて行います。認知症の気になる方をはじめ、ご高齢の方から若年の方まで受診いただけます。ぜひご利用ください。  
※1日ドックや脳ドックのご利用の方もオプションとして追加可能です。詳細については下記連絡先までご相談ください。

料金: ¥36,463 (消費税込)

詳しくはTEL: 079-451-8703 (直通)  
平日 (10:00~17:00) にご連絡下さい。  
またはホームページをご覧ください。



加古川中央市民病院 人間ドック 検索

### 健康教室のご案内

健康教室を毎月第3土曜日に開催しています。各テーマ毎に当院の医師、医療職員が解説しています。

日 時: 1月18日 (土) 14:00~15:00

場 所: 光 (きらり) ホール

講演医師: 精神神経科 主任科部長 河野 将英

テ マ: 認知症について

### 採用情報

加古川中央市民病院で一緒に働きませんか?

現在、以下のスタッフを募集しています。

- 看護スタッフ
  - ・看護師 ・助産師 ・看護補助 ・作業補助
- 医療スタッフ (臨時職員)
  - ・診療放射線技師 ・管理栄養士
- 事務スタッフ
  - ・医療事務業務 ・病棟クラーク ・外来クラーク
  - ・ポーター業務 ・受付事務 (検査受付)
  - ・放射線検査業務補助

詳しくはホームページをご覧ください。  
(資格・経験不問の職種もあります。)

加古川中央市民病院 採用情報 検索



### 病院ボランティアとして活躍してみませんか

病院に来られた方が安心して、あたたかい気持ちになっていただける癒しの空間を、病院ボランティアさんがつくってくださっています。興味のある方は、是非一度お問い合わせください。詳しい活躍と申し込みについては、ホームページをご覧ください。

担当者 / ボランティアコーディネーター

▶ <http://www.kakohp.jp/about/volunteer.html>

#### ボランティア活動の内容

- 外来案内 ○ 図書コーナー
- 四季折々の作品装飾
- 縫製 ○ 絵本の読み聞かせ
- 院内行事のお手伝い



加古川市民病院機構から地域の皆さまへ



2020

1

## 特集 心臓血管センター

テクノロジー

# 新しい治療、新しい技術、そして体にやさしい治療を。



心臓血管センター長  
(兼)心臓血管外科 科部長 脇山 英丘

### “さらなる低侵襲で信頼される診療を目指して”

当院の5大センターの一つである心臓血管センターでは一般的な循環器疾患に加えて24時間体制で重症かつ緊急の患者さんに対応できるよう体制を整えてまいりました。(下図)

昨今では、早期診断や体への負担を少なくする“低侵襲”な治療のニーズがますます高まっています。このような要望に応えるべく当センターでは**虚血性心疾患の最新の心臓核医学専用機 (D-SPECT)**を導入しました。また昨年に**薬剤抵抗性の重症心不全治療のため補助循環装置 (インペラ)**を導入し治療成績の向上が期待されます。もっとも多い弁膜症である**大動脈弁狭窄症**に対する**経カテーテルの大動脈弁移植術 (TAVR)**を導入することで高齢の方や重い合併症を持つ患者さんに治療の適応が広がりました。2018年5月に第1例目を行い現在までに25例を超える実績を挙げています。また、2017年からは脳神経外科医による**頸動脈狭窄に対するステント治療 (CAS)**も行えるようになり動脈硬化によって引き起こされる病気に対する治療がさらに広がりました。

心臓血管センターでは診断と治療に新しい機器を得て今まで以上に快適で信頼される治療が提供できるように一層努力してまいります。



### 心臓血管センター体制

成人循環器疾患治療部門						小児・先天性循環器疾患治療部門	脳神経外科疾患治療部門		
虚血性心疾患部門	不整脈・臨床電気生理部門	心不全・心臓リハビリテーション部門	構造的疾患部門	大血管部門	末梢血管部門	難治性高血圧部門	小児循環器部門	成人先天性心疾患部門	脳血管疾患治療部門

### かかりつけ医にご相談を

体調に不安があり、治療についてもっと詳しく相談したいなどの場合は、まずはかかりつけの先生にご相談ください。当院では、かかりつけの先生としっかり医療連携を行い皆さんの健康を支えます。



地方独立行政法人 加古川市民病院機構  
**加古川中央市民病院**

〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439番地  
TEL: 079-451-5500 (代表)  
<http://www.kakohp.jp/>

受付時間  
診療受付時間… (月~金) 8:00~11:00  
診療時間… (月~金) 8:45~17:00  
休 診 日… 土曜日・日曜日・祝祭日  
年未年始12月29日~1月3日

※2019年12月28日(土)~2020年1月5日(日)休診

加古川市民病院機構



# 特集

## 心臓血管センター

テクノロジー

# 新しい治療、新しい技術、そして体にやさしい治療を。

心臓血管センターでは、ご高齢の方や合併症を持つ患者さんにも治療を受けて頂けるように体にやさしい検査・治療の導入を進めています。また快適な生活を長く続けて頂くためにリハビリテーションやかかりつけ医の先生との連携などにも力を入れています。



循環器内科 主任科部長  
(兼)心臓血管センター 副センター長  
角谷 誠

### 座って撮れる心臓核医学専用機 D-SPECT

従来、狭心症の有無などをチェックするのに用いられていたアンガーカメラは仰向けに寝て両腕を上げて撮影していました。その体勢は患者さんにとって苦痛となっていました。今回導入されたD-SPECTは心臓専用機であり、基本的に座った状態で比較的楽な姿勢で撮影できます。しかも従来型に比べてより少ない放射線量(約10倍の高感度)で、きめ細やかな画像(約10倍の高分解能)が撮影できます。これにより従来型が苦手としていた体格の小さな方の小さな心臓もよりはっきり評価できるようになりました。また撮影時間も短くなっています。D-SPECTの導入によって安全で楽に冠動脈の血流障害の有無などを検査できるようになり、その後の治療に役立てることができるようになりました。



循環器内科 医長  
寺尾 侑也

### TAVR治療の導入で、治療に踏み出す患者さんも

大動脈弁狭窄症は、心臓と大動脈の間の弁(=大動脈弁)が硬く狭くなる病気です。息切れ・胸痛・疲れやすさなど、年の

せいと思われがちな症状のため気づきにくい事がありますが、重症になると命に関わることもあり手術が必要とされてきました。経カテーテル的大動脈弁移植術(TAVR)は高齢・併せもつ病気などの理由で手術リスクが高い患者さんのために開発された、非常に体への負担の少ないカテーテルを用いた弁膜症治療です。これまで治療をためられていた患者さんもTAVRにより早期の回復・退院が可能となり、治療後に以前より楽になったと改めて実感され、元気に過ごされる患者さんも多くいらっしゃいます。当院でも2018年5月よりTAVR治療に取り組み、良好な治療結果が得られています。



心臓血管外科 科部長  
圓尾 文子

### 血管から心臓に挿入可能な人工心臓「インペラ」が使用可能になりました

心筋梗塞や激症型心筋炎、または心臓手術後などで薬の治療や従来の補助循環ではどうしても心臓機能を維持できない重症心不全に対して心臓のポンプ機能を代行してくれる人工心臓は従来限られた施設で心臓移植の適応になる65歳以下の患者さんに対してのみ開胸手術でしか使用でき

せんでした。カテーテルの先端にポンプがついた人工心臓「インペラ」は足や腕の付け根の血管から心臓の中に挿入することができ、全身の循環を保ちながら心臓の負担を取って心機能の回復を待つ全く新しい画期的な治療方法です。従来の治療では救命できなかった重症心不全が「インペラ」によって救命できる可能性があります。



脳神経外科 科部長  
木戸口 慶司

### 頭頸部血管疾患に対する最適な治療を提供します

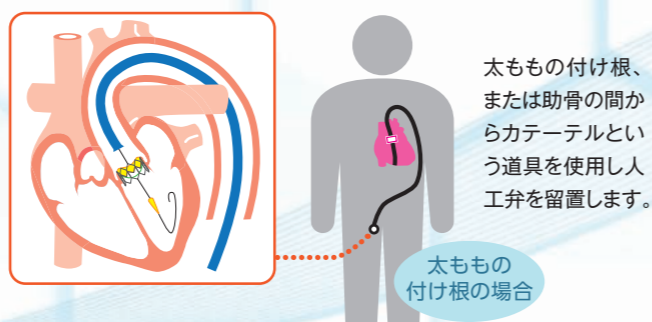
頸動脈狭窄症は、動脈硬化によって頸動脈が細くなる病気で、脳梗塞の原因になることがあります。虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症)の約30%に合併するとされており、それまで無症状でも注意が必要です。従来は全身麻酔下に頸部を切開する外科手術(頸動脈内膜剥離術)が主流でしたが、最近ではカテーテル手術(頸動脈ステント留置術)も行われるようになりました。局所麻酔下で行うことができ、皮膚を切ることなく、体への負担が非常に少ない方法です。当院でも導入しています。当院脳神経外科では頸動脈狭窄症以外の脳血管疾患(脳動脈瘤や動静脈奇形など)に対しても、外科手術に加えてカテーテル手術に広く対応しています。個々の患者さんに最適な方法での治療が可能です。

#### 心臓核医学専用機D-SPECT



この装置では、座った姿勢で検査ができるようになり、患者さんの体への負担が少なくなりました。また、短時間で高精細な画像が撮影できるため、無駄な放射線被ばくを軽減することができます。(従来の2/3程度)

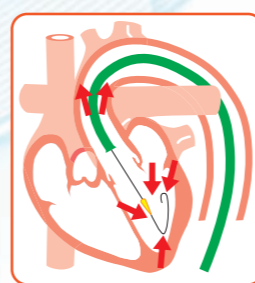
#### TAVR治療(カテーテルによる生体弁留置)



太ももの付け根、または肋骨の間からカテーテルという道具を使用し人工弁を留置します。

太ももの付け根の場合

#### インペラ補助循環用ポンプカテーテル



インペラとは、補助人工心臓の一つです。カテーテルの先端に小さな軸流ポンプがついており、左心室の中の血液を汲み出して全身に循環させることができます。当院では2018年末に施設認定を受け、重症心不全に対するインペラ治療が可能となりました。循環器内科医と心臓血管外科医を中心に、看護師、臨床工学士、理学療法士、栄養士などチーム一丸となって重症心不全治療にあたっています。

#### 頸動脈ステント留置術(CAS)



- ・負担が少ない
- ・術後の回復が早い
- ・手術の時間が短い

細くなった血管の内側にステント(金属メッシュの筒)を挿入し、血管の内腔を広げる治療です。局所麻酔下に太ももの付け根の動脈からカテーテルを挿入し、病変部の治療を行います。

### 心臓リハビリについて



循環器内科 医長  
嘉悦 泰博

「心臓リハビリ」とは、心臓病の患者さんが①楽に動けるようになる、②再発や新たな発症を防ぐ、③快適な生活を長く続けられることを目指して行う「包括的医療プログラム」のことです。運動能力が向上し、高血圧や糖尿病が改善したり、心不全の

症状、病状への不安が改善するなど様々な効果が実証されています。当院では、看護師や理学療法士などとチームを組んで、心不全入院中はもちろん退院後の外来でも心臓リハビリを積極的に行っています。

### 心不全地域連携パスについて

「地域連携パス」とは、かかりつけ医と加古川中央市民病院が患者さんの情報を共有し、お互い協力して治療をサポートし合うシステムです。心不全患者さんの数は増加の一途をたどっており、「心不全パンデミック」と呼ばれ問題となっています。心不全患者さんへの治療は当院だけでは困難で

あり、地域の先生方との連携が非常に重要です。当院では「心不全地域連携パス」を立ち上げ、地域の先生方とさらに連携を密にして心不全患者さんへの治療を行っています。